



青森ファンを拡大!

～大型観光キャンペーンいよいよ始動～

東北新幹線全線開業というまたとない機会に、青森県の魅力を首都圏に発信し、青森ファンを倍増させるため、2009年度から2011年度に向け、首都圏に向けて切れ目のない情報発信を強力に展開します。

とことん青森2010

「とことん青森2010in原宿表参道」
原宿表参道を青森色に染めていきます。

日程：2010年1月11日(月・祝)～24日(日)
会場：原宿表参道/明治神宮/表参道ヒルズ 他
主な実施イベント(予定)：●お祭り工房(青森ねぶた・展示)(1/15～24)、
●表参道冬ねぶた(1/23)●イルミネーションウォール(1/20～24)●青森
ご当地グルメ屋台村(1/23・24)、●とことん青森学講座(1/23・24)
●とことん青森交流広場(1/23・24)●とことん青森ギャラリー(1/19～24)
詳しくは、ホームページ http://www.apinet.jp/ap_tokoton.html

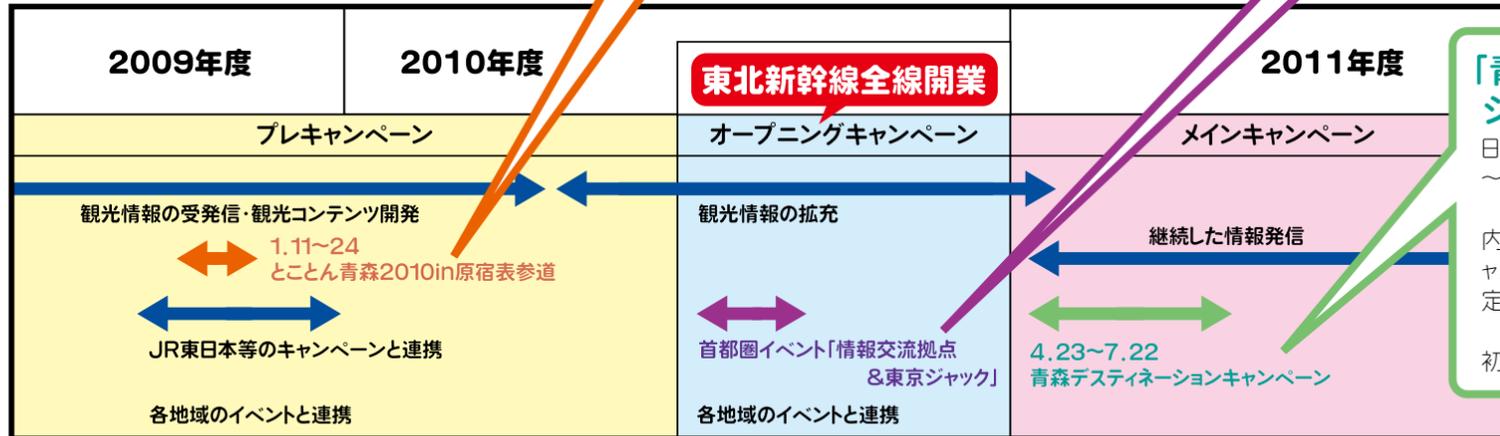


バナーフラッグ掲出イメージ(1/11～24)

「情報交流拠点 & 東京ジャック」

2010年度後半開催予定。東京と青森をITでつなぎ、青森の旬の情報を発信します。また、青森の食、文化、祭りなどを活用した多面的な展開を行い、首都圏を青森県の雰囲気ですばいこします。

(大型観光キャンペーンの主な取り組み)



「青森デスティネーションキャンペーン」

日程：2011年4月23日(土)～7月22日(金)
JR6社の協力のもと、国内では最大規模の観光キャンペーンが実施される予定です。青森県単独で行うのは初めてです。

【となみウインター・ファンタジー】

会期：平成21年12月14日～平成22年1月11日
場所：道の駅みさわ斗南藩記念観光村
内容：イルミネーション点灯、クリスマスイベント、正月イベント、三沢産焼きホッキ貝試食など



【北のコナモン博覧会】

会期：平成22年1月9日～3月22日
場所：八戸・久慈・二戸の3圏域内にある参加店
内容：八戸せんべい汁など粉食を扱う飲食店などをスタンプラリー形式で巡る。



【小嵐山・黒石温泉郷雪まつり】

会期：平成22年2月1日～28日
場所：津軽伝承工芸館雪まつり特設会場
内容：日本一の雪だるま、幻想的雪景1000本ローソク、郷土芸能、馬車運行など



冬の青森の魅力を活かした新しい冬のイベントを展開します。

冬の魅力を再発見!

外から見た青森の魅力を紹介 情熱青森! レポート vol.4

「毎回いろんな驚きと発見、感動がある。だから行きたい、大好きな場所。」
『旅の手帖』編集長・中村直美さんが、青森の魅力をお話してくれました!

幼い頃から縁がある青森。魅力がいっぱいです。

三重県の実家が果物屋で「黒石」という遠い町から木箱に入った冷たいりんごがやってくるという幼い記憶から、青森には遠い距離と冬を感じていました。大学の時に一人旅で訪れた晩秋の十和田湖が初めての青森です。7年前に東北新幹線八戸開業、5年前からはあおもりツーリズムアドバイザーをさせていただき、訪れる機会も格段に増え、青森がグッと近づきました。

青森は春夏秋冬が目でも肌でも、舌でも鼻でも分かるほどハッキリしています。だから1ヶ月後、1ヶ月後、2週間後、もう別の顔と訪れるたびに新しい発見があります。下北でのイカ釣り体験や寒立馬との出会い、深浦ではブナ林の中の十二湖めぐり、南部町ではサクランボ三昧……とあげればキリがない。どの季節も知っているのは十和田湖、とくに新緑の奥入瀬歩きが好きです。旬に出会えるから各地の道の駅での買い物も楽しい。家の冷蔵庫には青森の食材がたくさん入っています。

青森の「うらやましい」をアピールして!

青森県は、「みなさんの日常やフツー」を自慢すれば人が集まってくる場所です。今朝眺めた風景、昨日食べた旬の食材、先週



行った温泉……木で熟したりんごの美味しさは、その地でしか味わえないように、経験しないと分からない青森の魅力をぜひ自慢してください。都会の人からすれば、青森には「うらやましい」があふれているのですから。

新幹線の新しい駅ができた

新しくできる駅は、その先に広がる観光地をイメージしやすい存在になるといいですね。どの観光地への玄関となるのか、これまでの距離感などは、1年前の今から分かります。また、駅から観光地までの公共の乗り物や観光タクシーを少し増やすことや、待ち時間も楽しめるのはありがたいですね。新幹線に到着した駅で「青森に来た」と実感できれば、旅がもっと印象的なものになると思います。移動時間が短縮され、今より滞在時間が長くなる分、より多くの感動と発見に出会えることが楽しみです。

読者プレゼント りんご鹿角霊入りりんご美人石鹸

ハガキに、住所、氏名、年齢、電話番号、今回の「県民だより」のおもりの感想、興味を持った記事を明記の上、下記宛先にお送りください。なお、応募者が多い場合には抽選となります。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。ご了承ください。030-8570 青森市長島1-1-1 青森県広報広聴課「読者プレゼント」係

応募方法

10名様



中村直美 [月刊「旅の手帖」編集長]

三重県生まれ。東京都在住。2000年7月より月刊「旅の手帖」編集長。あおもりツーリズムアドバイザー、群馬県観光審議会、ながさき歴史発見・発信プロジェクト推進会議などの委員として地域のツーリズム振興に関わりつつ、自らも楽しんでいる。